

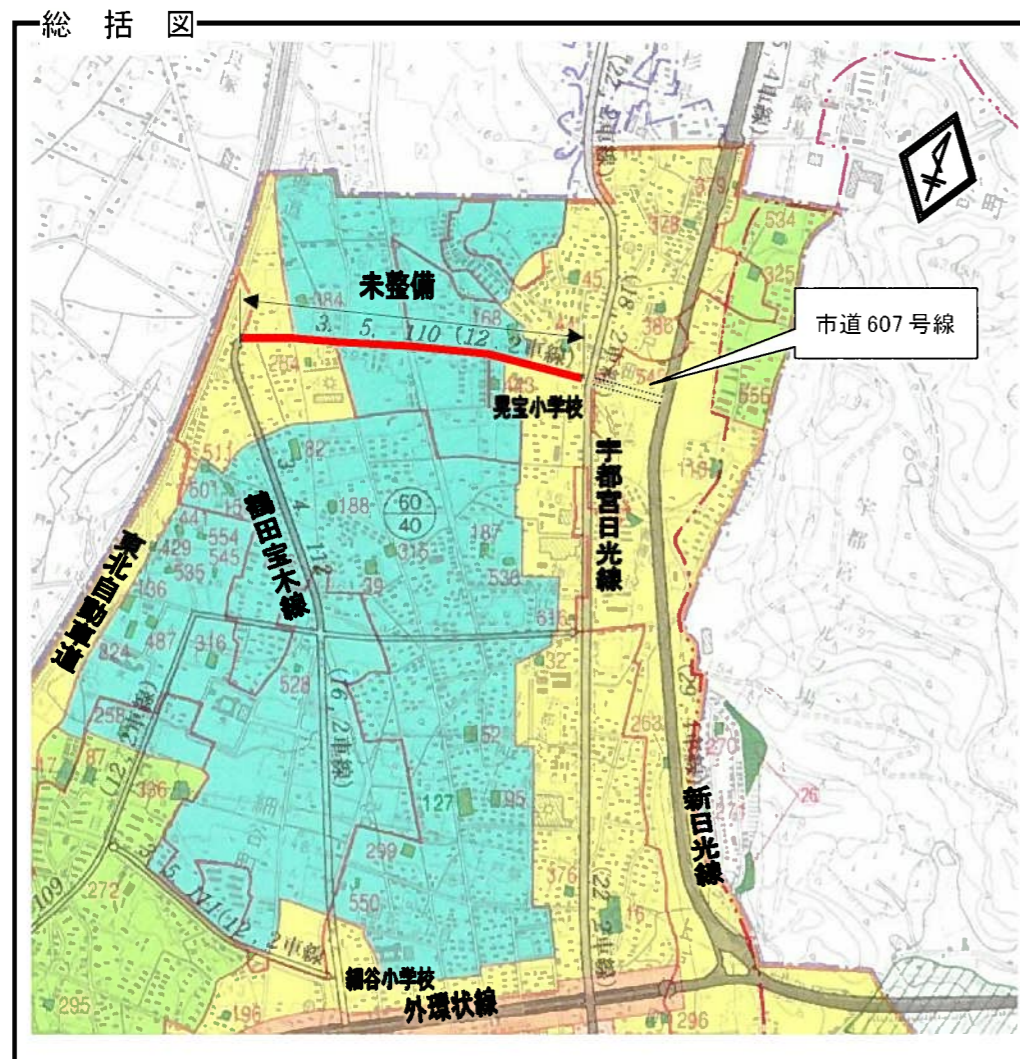
1. 3・5・110号 弁天通りの都市計画の概要

宇都宮都市計画道路3・5・110号弁天通りは、宝木本町地内の3・4・112号鶴田宝木線（主要地方道大沢・宇都宮線）を起点とし、野沢町地内の3・4・102号宇都宮日光線（国道119号）までを東西方向に結ぶ延長約1,060mの都市計画道路である。また、3・4・112号鶴田宝木線と3・4・102号宇都宮日光線を東西に結ぶことにより南北幹線道路の交通を分散させ市内北部交通の円滑化を図るための補助的な幹線街路である。

本路線の都市計画は、昭和47年3月に当初決定され、平成13年1月に車線数を決定し現在に至っている。

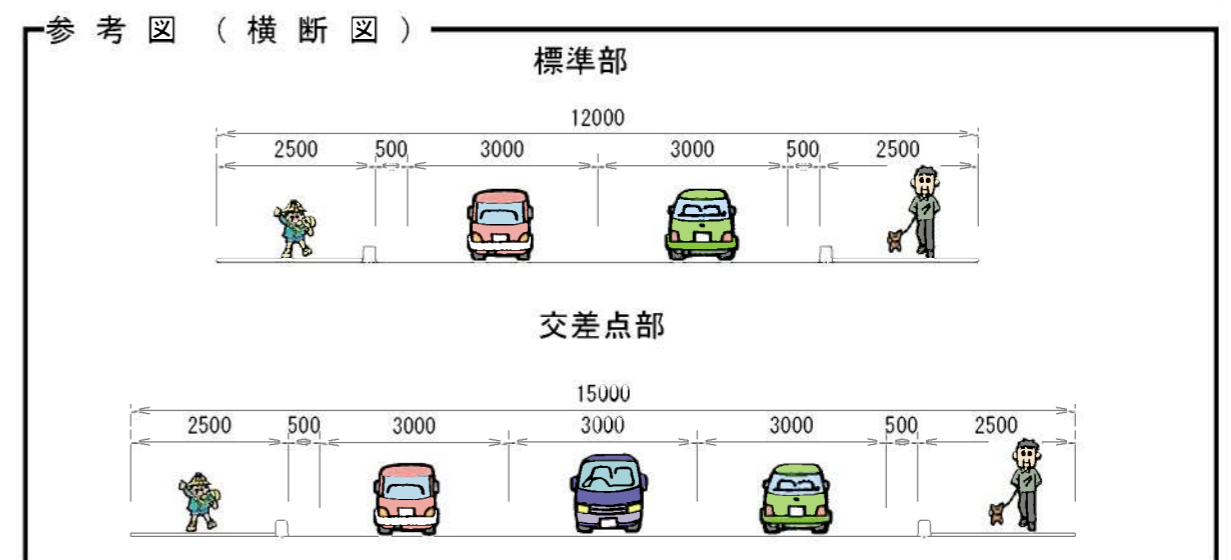
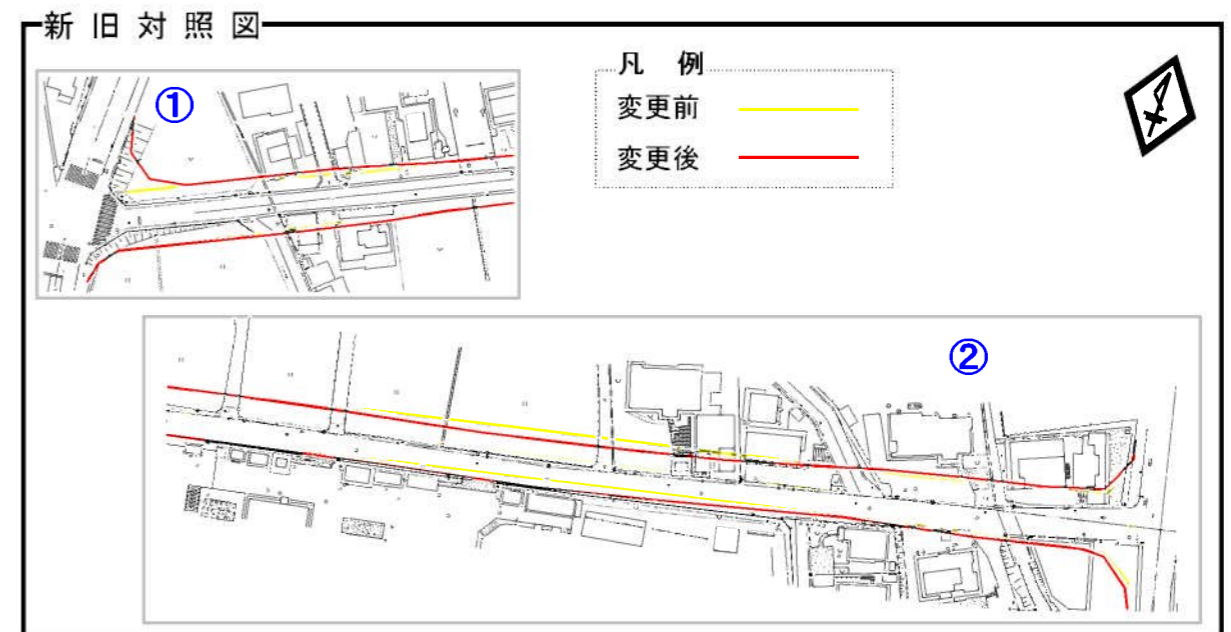
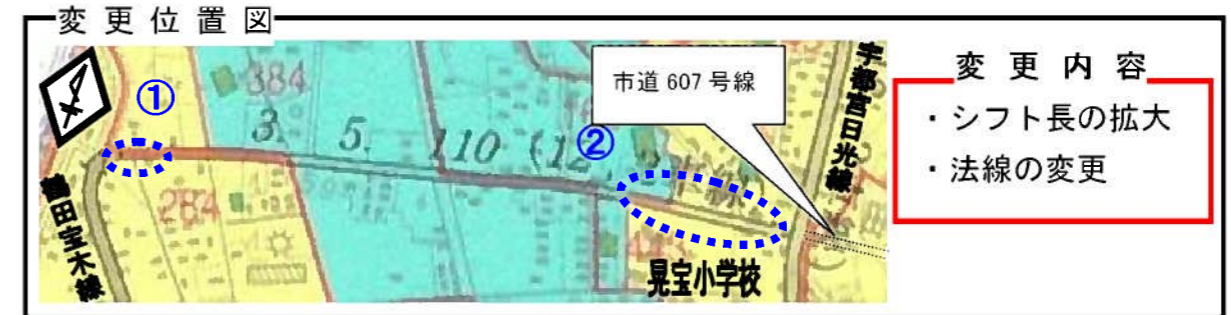
2. 整備状況

本路線の現況は、起点の3・4・112号鶴田宝木線から終点の3・4・102号宇都宮日光線まで既存市道が道路幅員約7mで整備されているが、本路線の道路幅員約12mでの整備は、全区間未整備である。

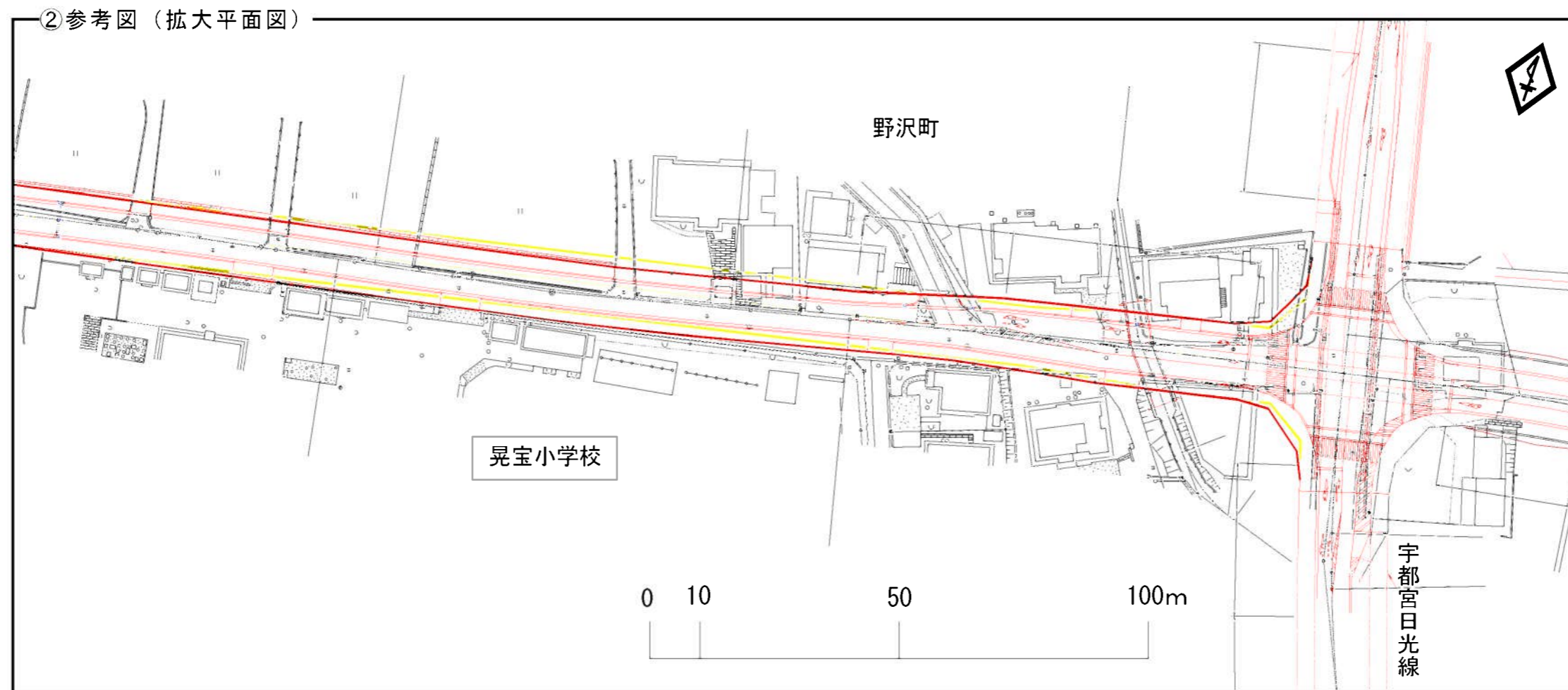
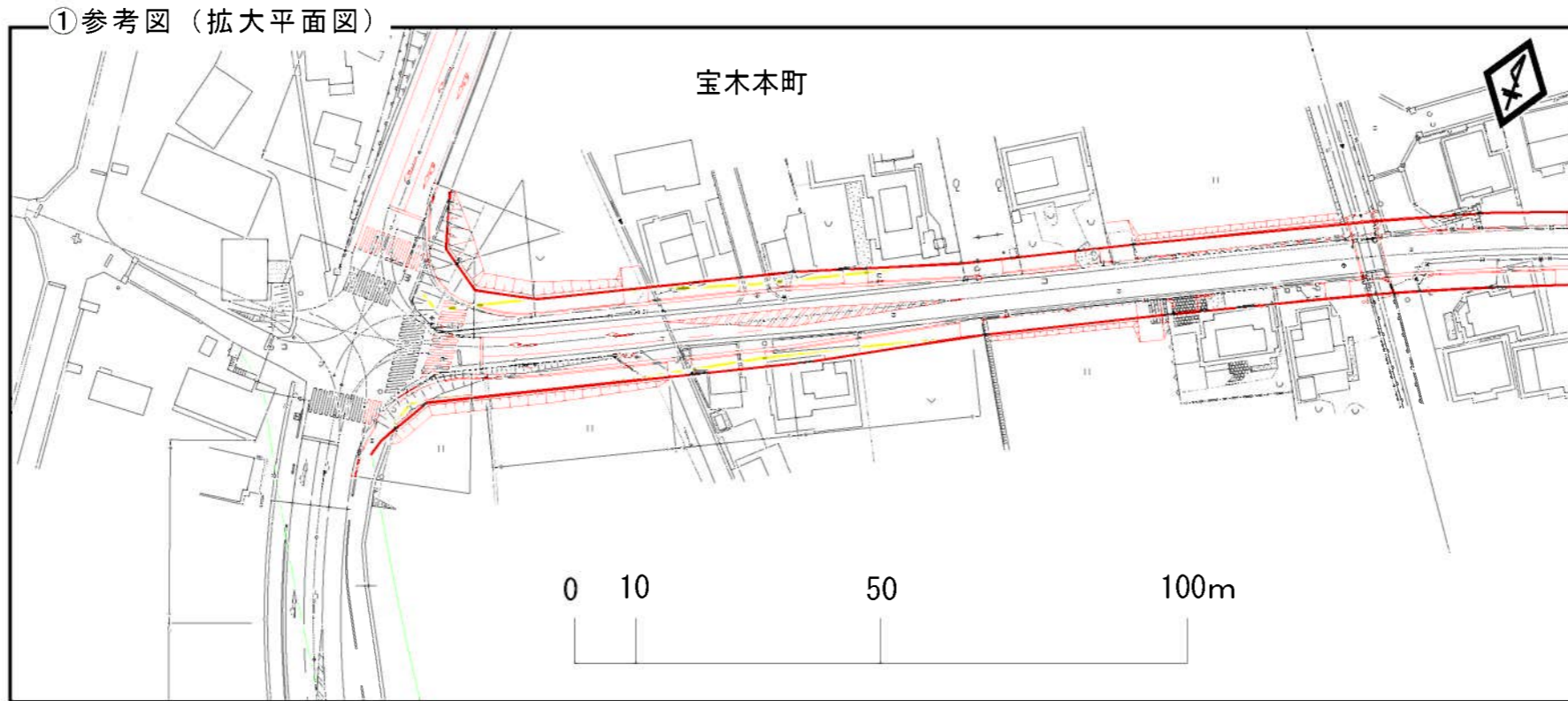


3. 変更する都市計画の内容と理由

3・4・112号鶴田宝木線との交差点部における円滑な交通処理を行うためシフト長の拡大が必要となることから、道路幅員を両側（南北）に拡幅する。また、市道607号線の整備に伴い3・4・102号宇都宮日光線との交差点形状がT字路から十字路になり、事業実施にあたり事業費等を勘案し、法線を南側に変更する。



議案第5号 宇都宮都市計画道路の変更（宇都宮市決定）



凡例

変更前	— (yellow line) —
変更後	— (red line) —